



関係者による  
テープカットが行われました



メインアリーナ

## 総合体育館オープン

4月1日、市民待望の総合体育館がオープンしました。

市内のスポーツ団体や市民の代表で構成される「総合運動公園検討会議」の提言から5年の時を経て迎えたこの日、菊谷市長のほか、施設管理を担当するNPO法人伊達市体育協会の坪俊輔会長や多くの来賓が出席する中、オープニングセレモニーが挙行されました。

菊谷市長は、あいさつの中で「総合体育館は、アスリート（競技者）だけのものではなく市民皆さんのものです。多くの方の健康増進に貢献でき、同じくオープンした観光物産館との相乗効果で、伊達がもっと元気になるような施設になって欲しいです」と話しました。

## 新入学生への交通安全啓発

4月6日、伊達小学校で、新入学生への『交通安全啓発』が行われました。

これは、新1年生の交通安全を願い毎年行われるもので、今年も菊谷市長、伊達警察署長、伊達ライオンズクラブ、伊達地区交通安全協会などの関係者が、校門前で交通安全を呼びかけました。

小雪が降る寒さの中、登校してきた新1年生は、「入学おめでとう。車に気を付けてね」との声に、「ありがとう」とはにかみながら応えていました。



市長から記念品を受け取る新1年生

最新の消火設備を備えた新型車両



## 地域の安全を守ります 伊達消防署 消防車更新

3月28日、伊達消防署黄金出張所ひきだに配備される1.5t水槽付き消防ポンプ自動車ひきだが、足田副市長や報道関係者などにお披露目されました。

この車両は平成3年導入の老朽化が著しい車両に代わり、国の平成23年度石油貯蔵施設立地対策等交付金事業を活用し、約3,200万円で導入。操作性が良く小回りがきくことから、火災の初期消火に威力を発揮できると期待が高く、主に黄金・稀府地区の消防活動で使用されます。

## 第25回

### 春一番 伊達ハーフマラソン大会

4月15日、『春の合宿村まつり・春一番伊達ハーフマラソン大会』が市内一円で開催されました。

伊達の早い『春』を告げるイベントも、今年で25回目を迎え、ハーフをはじめとする19種目に、過去最多となる約4,000人が道内外から参加しました。

思うように気温が上がらない中、日頃の練習成果を発揮しようと力走するランナーは沿道から多くの声援を受け、疲れを見せながらも充実した1日を過ごしていました。



商店街を駆け抜けるランナー

終わりに〇×インタビュー 「今日は楽しかった？」



### 有珠小学校 1年生をむかえる会

4月13日、有珠小学校で、「1年生をむかえる会」が行われました。今年入学した1年生は5名。

「1年生には早く学校に慣れてほしい」と、児童会が考えたゲームを全校生徒で行いました。

1年生は、上級生のお尻についたビニールひものしっぽをとる「しっぽとりゲーム」で元気よく走り回り、有珠小にちなんだクイズでは答えを即答し、先生もびっくり。入学してまだ1週間ですが、学校生活を楽しく過ごす1年生の姿が見られました。



### 伊達市観光物産館 移転オープン

4月1日、「伊達市観光物産館」が黎明観内から総合公園だて歴史の杜駐車場内へ移転オープンしました。

地場製品の知名度アップと市外からの観光客誘致を目的に建設された新しい観光物産館は、今までの観光物産館の約3倍の広さの物販スペースに、地元生産者から出荷される野菜を中心に水産加工品や加工食品などの地元産品が多く並んでいます。

14日には、宮城県亶理町から移住のいちご生産者の皆さんが試験栽培したいちごが、初めて売り場に登場。

真っ赤に色づいたひとつぶ一粒に、復興の勢いが感じられました。



新築ながら、白壁と瓦屋根が歴史を感じさせる外観です

いちごも大好評